

(様式3)

外国人児童生徒等教育アドバイザー派遣結果報告書

都道府県名	長野県	市町村名		大学名	
派遣日	令和2年9月15日(火曜日) 14:00~15:40				
実施方法	派遣 / (遠隔)				
派遣場所	(Zoomによる遠隔での講義のため派遣先はなし) ※詳細については別添実施要項を参照				
アドバイザー氏名	齋藤 ひろみ				
相談者	長野県内の日本語指導教員及び支援員				
相談内容	<p>○日本語指導教員の専門性向上</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・配置されている日本語指導教員の中で中央研修を受講した教員は4名(令和2年度4月現在)であり、より専門的な研修機会を増やす必要があること。</li><li>・日本語指導について経験が浅い教員からベテランの教員まで幅があることから、研修内容の焦点化が難しいこと。</li><li>・研修を「点」的なものではなく「線」的な連続的なものにするための研修計画。</li></ul>				
派遣者からの指導助言内容	<p>○「子供の多様性を生かす日本語学習支援—日本語の力に応じた指導—」</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・Zoomによる遠隔で講義をしていただいた。</li><li>・サバイバル日本語、文字の読み・書き、語彙、文型・文法、文章の読み書き、教科の補習、JSLカリキュラム(教科と日本語の統合学習)、母語・母文化、キャリア教育の中からどの学習指導を行っているか、また、日本語の力をどのように把握しているかについて、講義序盤にGoogleフォームを使って、アンケートをとっていただいた。すぐにアンケート結果を受講者と共有し、現状から子供の日本語の力に応じた指導をどのようにしていくかについてお話しいただいた。</li><li>・以下の指導・助言、演習などをしていただいた。<ul style="list-style-type: none"><li>◇日本語のコースデザイン、各種プログラム(サバイバル日本語など)の組み合わせ方、指導計画作成の手続きについて</li><li>◇子供の実態・日本語の力の把握をする上での多面的・複数の目の重要性とJSL対話型アセスメントDLAを使った日本語力の把握などについて</li><li>◇DLA後の指導計画への位置付け方について</li><li>◇ブレイクアウトセッションの機能を使って小グループに分かれ、各受講者の事例共有</li><li>◇来日して3カ月の子供や日本生まれであるが日本語教育が必要な子供の事例などを基に、実態に即した指導計画例の紹介</li><li>◇DLAの結果を指導にどのように生かしていくかについての演習</li><li>◇語彙や文型などの学習活動の工夫に関する具体的な事例</li><li>◇DLA「話す」の結果からの目標や指導内容、指導、方法を観点にした検討</li><li>◇道案内を活用した言語活動による日本語指導についての演習</li><li>◇DLAの「貝がら」を基にした「読む」ことに関する指導について</li><li>◇小学校5年生国語科の事例紹介</li></ul></li></ul>				

(様式3)

<p>相談後の方針の変化、今後の取組方針等</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・事前アンケートで「DLAについてどの程度ご存じですか」という質問をしたところ次のような結果であった。<ul style="list-style-type: none"><li>ア かなり知っている…2人</li><li>イ 多少知っている …23人</li><li>ウ あまり知らない …9人</li></ul></li><li>・一方、事後のアンケートで「DLAの概要について分かった／理解が深まった」という項目では以下のように変容した。<ul style="list-style-type: none"><li>ア そう思う …20人</li><li>イ どちらかというと思う …12人</li><li>ウ どちらかというと思わない…2人</li></ul></li><li>・事後のアンケートによると、遠隔による研修は出張にかかる時間を軽減化できることから参加者からは好評であった。広域である長野県内各地から参集する研修だけではなく、オンラインによる研修会も組み合わせて研修を行うようにしたい。</li><li>・今後の情勢にもよるが、オンラインによる研修と参集による研修を組み合わせ、研修で学んだことを生かした実践について、日本語指導教員がお互いに検討し合えるように研修の仕組みづくりをしていきたい。</li><li>・今後の研修を考える上でも、齋藤先生とのご縁を大切に、長野県の日本語指導の研修を充実させるようにしたい。</li></ul>
---------------------------	--

1枚にまとめる必要は、ありませんので、詳細に記載願います。なお、本報告書の内容は、文部科学省ホームページで公開いたします。